



【目指す学校像】笑顔あふれ、家庭・地域と共に子どもを育む学校

「体ぜんぶで聴く」子供たちに

4月30日（木）のお話集会では、「聴くこと」をテーマに、全校児童に向けて話をしました。

はじめに、「鼻、口は一つなのに、耳はどうして二つあるのでしょうか？」という問いかけから話をスタートしました。

耳が二つあるのには、とても大切な意味があります。一つは、「大切なことを聴く耳」、もう一つは、「大切な人の気持ちを聴く耳」です。

「聴く」ということは、人を大切にしている行為であることを子供たちに考えさせました。

また、「聴くこと」を単なる姿勢ではなく、相手とよりよい関係を築いていくための大切な関わり、すなわち「関係づくり」と捉え、指導してまいります。

そこで、本校の合言葉を「体ぜんぶで聴く」「耳を二つ使う」としました。

本校が大切にしている聴き方は、次の三つです

- 「目で聴く」
- 「うなずいて聞く」
- 「心が動いたら拍手」

「目で聴く」とは、話している人の方を見て、体を向けることです。

「うなずいて聴く」とは、「聴いているよ」という安心のサインを送ることです。

「心が動いたら拍手」とは、よい話や頑張りに対して共感を表すことです。

これらの取組を年間を通して積み重ねることで、本校の学びと人間関係の土台築いていきます。「聴き方名人」を育て、上谷小学校に「聴く文化」を育てていきたいと考えています。

ご家庭におかれましても、ぜひご協力お願いいたします。詳しくは、別紙を配布いたしますので、ご確認お願いいたします。



恵みいっぱい! 学びいっぱい



5月12日（火）、2年生はグリーンピース、の5月15日（金）、1年生はそら豆のさやむきに挑戦しました。さやを開けた瞬間、「見て見て!」「たくさん入っているよ」と目を輝かせる子供たちの姿に、体験ならではの学びの豊かさを感じました。

給食時には、「ちょっと苦手だけど食べてみる」「自分でむいたから頑張る」といった声が聞かれ、「全部食べたよ」と嬉しそうに話す姿も見られました。また、2年生がむいてくれたことをきっかけに、他学年の子供たちもいつも以上に意欲的に食べる様子があり、子供同士のつながりの温かさも感じられました。

これからも、子供たちの「やってみたい」「できた」という気持ちを大切にしながら、さまざまな体験を通して学びを広げていきたいと思います。



5月の学校生活の様子

★運動会★

5月23日(土)、運動会を無事に実施することができました。子供たちは、練習の成果を十分に発揮し、一人一人が輝く姿を見せてくれました。全力で競い合う姿や、仲間と力を合わせて取り組む様子は、大変頼もしく、心に残るものとなりました。



★上谷小フェスティバル★

5月28日(木)、上谷小フェスティバルを開催いたしました。当日は地域の皆様に多数の方々にお集まりいただき、にぎやかなひとときになりました。本校の教育活動を日々支えてくださっている地域の皆様に、感謝の気持ちを直接お伝えする貴重な機会となりました。

本年度は、新たな取り組みとして、これまでの賞状に代わり「メダル」を贈りました。努力の証を形として残し、子供たちの思い出をより豊かなものにしたという願いからです。

このメダルは、県費事務の棚橋さんのデザインのもとに、市費制作事務の篠崎さんと共に協力してしたものです。職員で知恵を出し合い、一つ一つ丁寧に仕上げました。全職員が「子供たちに喜んでもらいたい」という思いで取り組んだ、まさに本校ならではのメダルです。

メダルを手にした子供たちの笑顔から、このメダルが心に残るものになったと感じ、大変うれしく思っています。



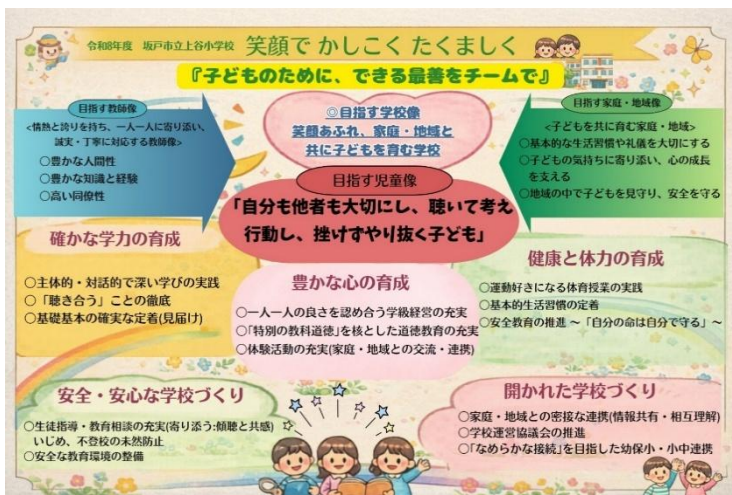
★学校運営協議会★

5月23日(土)、第1回学校運営協議会を開催いたしました。

委員長を大川泰弘様にご快諾いただきました。

当日は、本校の学校経営方針等をご理解いただくとともに、上谷小学校の子供たちの良い姿について、多くのお褒めの言葉を頂戴しました。

今後とも、上谷小学校の教育活動へのご支援をお願いいたします。また、笑顔あふれ、家庭・地域と共に子どもを育てる学校づくりを一層進めてまいります。



耳を2つ使う

体ぜんぶで聴く

～ 人を大切にする聴き方を育てよう～

目・鼻・口は
1つずつ
耳は2つ!



耳が2つあるのは、とても大切だから!

① 大切なことを聞くため
(授業・約束・命を守る話など)



② 大切な人の気持ちを聞くため
(友だちの思い・困り感など)



♡ 聴くこと＝人を大切にすること

本校の「聴き方」3つ

① 目で聴く

話している人を見る・
体を向ける



体の向きを変えることも
「体ぜんぶで聴く」だよ!

② うなずいて聴く

「聞いているよ」という
安心のサイン



うん
うん

③ 心が動いたら拍手

よい話・がんばりに
共感を返す



すてき!
がんばったね!

★ 拍手はマナーではなく、共感や敬意の表現として大切にします。★

♡ 先生たちの声かけ (例)

- 「今の聴き方、すてきだね」
- 「うなずいてくれて、話しやすかったよ」
- 「その拍手、気持ちが伝わったね」
- 「耳を2つ、上手に使っているね」

できるだけ避けたいこと ×

- 「ちゃんと聞きなさい」で終わる指導
- 一律に「目を見なさい」と求めること
- 静かだけを目的にする注意



★ 行動の否定より、価値の承認を優先に!

聴く方法はいろいろあるよ

視線を向け続けることが難しい子、うなずきなどの
身体表現が苦手な子にも、聴く参加の別ルートがあります。

姿勢を向ける



手を止める



静かに待つ



聴く文化は、できる子だけのものではありません。
一人一人にあった声かけを!

年間を通して、聴く文化を育てます

4～5月

よい聴き方
を見つけて
言葉にする

6～7月

自然な拍手・
うなずきを
広げる

9～10月

崩れやすい時期。
うまくできない子も
含めて変える

11～3月

「この学校の空気」として
価値づけ、
次年度へ

文化は、繰り返し使われる言葉で育ちます。✿

先生たちへ

子供に聴くことを求める前に、
私たちが聴く姿を見せる。
その積み重ねが、本校の学びと
人間関係の土台となります。

私たち教職員も、子供と共に
聴き方名人になりましょう!

